

きよさと 組合だより



No.332



もくじ

2015年
1
平成27年

年頭にあたって

清里町農業協同組合代表理事組合長 居城勝四郎… 2
平成27年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会会長 飛田 稔章… 4

新年のご挨拶 清里町農民連盟委員長 山崎 一幸… 5

新年のご挨拶 ホクレン斜里原料所所長 泉 佳史… 6

新年のご挨拶

網走農業改良普及センター清里支所支所長 高松 聡… 7

新年のご挨拶 清里町農協青年部部长 大町 敏隆… 8

新年のご挨拶 JA清里町女性部部长 成戸 貴子… 9

第3回大収穫感謝祭… 10

清里町酪農組合設立50周年記念式典… 12

日本の森林・林業とTPP交渉の課題… 13

第29回JA清里町女性部研修会… 14

新規共済契約者様温泉旅行親睦会… 16

清里特産品の夕べ… 17

残った餅が大変身お餅アレンジレシピ… 18

理事会の経過をお知らせ致します… 20

組合員状況… 20

ご結婚おめでとうございます… 20

年末・年始の業務日程… 21

健康百科… 21

各課紹介 管理部共済課… 22

年頭のご挨拶

年頭にあたって



清里町農業協同組合

代表理事組合長

居城 勝四郎

新年明けましておめでとござい
います。

組合員各位、ご家族様のご健勝
で新年を迎えられた事に心からお
慶び申し上げます。

本年も天候に恵まれ、明るく希
望と期待がもてる一年間でありま
す様、ご祈念いたします。

また口頃より農協事業推進に関
し、ご理解とご協力を頂いており
ます事に、心より敬意を表する次
第です。

今後とも役員一丸となり組合員
皆さんの負託に応えられる様、事
業運営は基より、皆さんの経営と
生活に寄与できる組織体制の構築

と激動の時代背景に即応できる事
業展開を進めて参りますので宜し
くお願い致します。

昨年をふり返ると、3月から4
月は気温も低く融雪期は平年より
も遅れ、4月下旬からの春耕期の
開始となりました。5月は天候も安
定し、春の播付作業も順調に開
始されました。その後の天候も安
定し各作物共に平年を上回る生育
ステージで推移をし、期待のもと
る年に成ることを願っていたこと
ろです。

麦類の生育も6月中旬より7月
中旬にかけ、好天と適時の降雨に
も恵まれ、麦の操業も予定通り、

7月31日から刈取り搬出が開始さ
れ、8月4日までは降雨も無く順
調で面積の95%余りを収穫する事
が出来ました。その後4日間連続
の降雨があったものの、一般のき
たほなみは8月10日、春よ恋は8
月14日、種子のきたほなみ、春よ
恋も8月17日までで全て終了する
事が出来ました。

昨年は麦の生育も良い状況で
あった事と、収穫期も安定した天
候に恵まれ、一般きたほなみ反収
10・86俵、春よ恋7・4俵となり、
すべて1等Aランクで終了致しま
した。当JAとして、過去最高の
品質と収量を得る事が出来、組合

員各位と共に慶びとするところ
です。

でん粉工場の操業は収量調査で
のでん粉価の測定結果が過去5年
間の平均値を上回った事から、9
月1日操業開始と致しました。

操業期間は降雨も少なく順調に
推移し、11月20日に終了、81日間
の操業を無事に終了する事ができ
ました。

操業実績は5年ぶりに当初の計
画を上回り、収量が72・4俵、ラ
イマン価20・84%、製品出来高
87万8千90袋と久しぶりに製品で
2万t超えとなり安堵したところ
です。

甜菜においても、収量、糖度共に平年を上回るとの見方から、中斜里製糖工場の操業は10月13日からの開始と決定し、収穫作業が始まりました。

昨年は病害（褐斑病等）も少なく経過したものの、地域的には西部萎黄病が区域内で新たな病気として発生が確認されましたが、確実な予防体制は整っていません。清里での影響は極少ない状況であります。次年度に向けた予防体制の確立が急務であります。収量的には、清里は63 t/ha、糖分17・9と高い状況で受け入れを終了したところです。

豆類（大豆・小豆）においては5俵から5・5俵と平年並みの収量とはなりましたが、小豆の価格が前年より15%程下落しました。しかし、品質は平年並であり、第4の作物としての定着が期待されます。

青果については、収量は平年並み、品質については特に玉葱では肥大が進み規格外（大玉）が散見された状況であります。製品歩留りは高い状況であります。

酪農畜産においては、乳価の値上げはあったものの飼料費、燃油、電気料金等の高騰により、厳しい現状には変わりありませんが、自給飼料体制を更に進展させる事で

の所得確保が急務であります。和牛については、素牛価格は府県の購入需要が活発な事から販売価格も60万円を超える高価格での取引であり、非常に明るい状況となっております。

平成26年度は、各農産物ともに良好な成績で終了した事、また経営所得安定対策の基準でん粉価の設定に加え、数量払い単価の見直し、麦類は収量の増となり、クミカンの収支も大きく改善されました。この様な状況から農協の事業収支も非常に良い結果となる事が見込まれます。

各生産資材の値上げ、4月からの消費税の増税等、環境は恵まれない中ではありましたが、組合員の農協への期待に応える結果になつた事を共に慶びたいと思えます。

さて、昨年はアベノミクス経済成長戦略が掲げられ、デフレ脱却からの経済政策が打ち出されました。その結果、急激に円安が進み、輸出産業は大きくつるおつ事となった反面、各種輸入品への影響が大きく、生産資材、燃油、飼料の大幅な値上げと成りました。更に4月からの消費増税、加えて電気料金の値上げとなり、昨年は一年間を通して生産費、生活費共に厳しい年となった事は言うまでも

ありません。

アベノミクスの経済効果は、大企業、投資家には大きなメリットが現れたものの、地方は所得は増えず、すべての物品の値上げにより、全く経済成長戦略の効果は感ずることの無い一年でした。

さらに、年末になつての衆議院の解散は我々の地域にとって大変迷惑な選挙であり、国民生活を真剣に考えての選挙とは思われません。年末のドサクサ選挙の結果によつては、TPP交渉の進展が日本に何のメリットもない無条件な交渉結果になる事が不気味でもあり、非常に懸念されることです。

また、規制改革実施計画の閣議決定を実施した後、農業改革を柱とした協同組合の見直し、農業委員会、農業生産法人の在り方を大きく変えようとしています。この規制改革は、民間組織の改革とは言えども、農業協同組合の求心力の低下を進める組織解体に他なりません。しかし我々農業者はこんな事ぐらいではへこたれません。今こそ我々の底力を結集し、政府と身を投じての戦いをしなければならぬと思います。

この様な、厳しい政治経済情勢の中ではありますが、平成27年から31年までの第9期5ヶ年計画の樹立に向け準備を進めていること

ろです。JA清里町としての中期計画を作成し、どの様な状況となくれども自主自立を大黒柱として、各種の政治情勢に押し切られる事の無い未来を展望できる清里町農業を確立しなければなりません。組合員が共に理解を深め、地域と協調できる持続可能な清里町農業を確立できる中期計画と致したいと考えているところです。

結びにあたり、内外共に厳しい農業、社会情勢が予測されるところでありますが、この様な情勢であればこそ組合員、役員が一丸となり盤石な体制の中で農協事業運営を推進して参りますので、引き続きご理解、ご協力をお願い致します。今年もご家族皆様のご健勝で、昨年と同様に自然災害が無く豊稔の出来秋となります事をご祈念し、年頭の挨拶と致します。

平成27年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔 章



ます。

組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。さて、昨年の北海道農業は、地域差・個人差があるものの、おおむね順調な作柄となりました。皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます。

平成26年は午年でありましたが、農業・JAをとりまく個々の情勢変化に加え、年末には、衆議院議員選挙が実施されるなど、まさに激動の一年でした。かかる情勢の中、我が国の農業をはじめ国民生活のさまざまな面に大きな影響を及ぼしかねないTPP交渉に関しては、関係国の首脳・閣僚・交渉官等による各種会合並びに交渉が継続的に行われてい

昨年の11月10日に行われた関係国の首脳会合では、結果として大筋合意に至らず合意の目標時期も明示されませんでした。協定の早期妥結に向けた取組みをさらに進めていくことなどを確認し合った経過であり、今後とも予断を許さない情勢にあります。国のかたちを大きく変容させかねない重大な交渉であるにもかかわらず、依然として具体的な情報開示がなされておらず、国民不在のもとでの交渉に大きな不安と憤りを感じざるを得ません。

国会決議の順守とともに我が国の将来に禍根を残すことのないよう、今後とも政府・与党への強力な働きかけを行うつつ、国民世論の形成に向けた取組みを展開して参ります。

一方、政府は規制改革会議における答申を踏まえ、平成26年6月に「規制改革実施計画」を閣議決定し、農協系統組織に自己改革を求める内容を示しました。その後、JAGルー

プ北海道として全道の組合員に参加いただいたうえで組織討議を実施し、頂いたご意見・ご要望をもとに、「多様な価値観に因應する北海道農業」時代の即した協同組合への改革一を柱とした「JAGグループ北海道改革プラン（実行計画指針）」をとりまとめました。

今後、その内容を踏まえ、必要なら環境整備に向け政府・与党に働きかけを行うとともに、組合員の皆様方と力を合わせJAGグループとしての機能・役割をより一層発揮し、国民各層の理解醸成をはかりながら、改革プランにもとづく事業展開を積極的に推進してまいりたいと存じます。

世界規模での異常気象の発生、人口増加、新興国の経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は不安定な要因を抱えており、先を見据えた中で、食料の安全保障をいかに確立していくかが問われています。自国の食料は可能な限り自国で賄うべきは、国家が存立していく

うえで必要不可欠な取組みであります。我が国の農業の位置づけ・役割を再認識したうえで、農業の持続的発展をはかつていくという国としての基本姿勢のもとで、必要な政策展開なり関係者の自助努力を精力的に進めていくことが重要であります。

併せて、いまや農業は国民の理解と協力なくしては成り立たない産業であり、農業・JAの実態や取組み、農業・農村の多様な魅力を発信し、国民各層の理解醸成につなげていくことが肝要であります。ややもすると、経済合理主義のもと、効率性や競争が豊かな暮らしの道しるべになるこの風潮がありますが、それぞれの地域や国の実情、多様な価値観を踏まえ、真に豊かな暮らしを追及し実現していく姿勢が今まさに必要ではないでしょうか。

今年の干支は未年です。群れをなす羊は家族の安泰を示し、いつまでも平和で暮らすことを意味します。改めて家族や農村社会の結びつきを大切にし、地域農業・地域社会の共存共栄を目指し、ともに頑張ろうではありませんか。

結びになります。本年が天候に恵まれ実り多い年となりますよう、併せて、北海道農業並びにJAGグループ北海道の一層の発展を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。

年頭のご挨拶

新年のご挨拶



清里町農民連盟

委員長 山崎 一幸

新年明けましておめでとうございます。平成27年の初春をご家族で迎えられた事を心よりお喜び申し上げます。また日頃より農民連盟の活動につきまして暖かいご理解と、ご協力を戴いております事にお礼申し上げます。

昨年は、長期予報で冷夏の予想が出されていきました。そのことにより、各作物の生育が心配されながら迎えた春耕となりましたが、天候も順調で、気温も例年と変わらない出だしとなりました。少々干ばつ傾向とはなりましたが、小麦の収量や品質には特に影響がなく豊作の期待の持てる昨年の出だしとなりました。他の基幹作物に関しても、町内平均では近年に無い高収量であり更に馬鈴薯のライマン価や甜菜の糖分値も揃って高かったのは大きな喜びでした。

昨年からは糖度の基準が下方修正され、収入の増加に期待感を持ったスタートでした。早掘当初から17・1%を超える勢いには驚かされました、その後も順調に上がり20%を超えることに更に驚ぎでした。

過去に於いての甜菜に関わる対策として、産糧量枠64万トンや指標枠6・8万ヘクタールが主なもので、農水省だけでなく輸入糖精製業者にも北海道の現状を訴えました。当時は砂糖の消費は厳しく、キシリトールなどの製品に市場を奪われる状況でした。更に新たなエネルギー開発として余剰している農産物をエタノール燃料へとの動きが高まり、甜菜もゴミ同然の扱いにされた事で辛い思いをした人が多く居たはずで、その後に対経営安定対策が始まり、生産に対

するコストの算定基準と基準糖値の見直しを提言してきました、特に近年では17%を超える糖分は不可能で有ると訴え、北海道の現状を視察することが必要だと訴えてきたのが懐かしいです。このような要請活動が実を結んだ矢先の年に基準糖分を軽く超えたのは嬉しいやら恥ずかしいやらです。後は面積が過去のように戻ることを期待します。これは馬鈴薯澱粉も不足している現状では同様の事が言えるでしょう。

TPPも年越しとなりました。しかし交渉の解決に期待感が高まって来ている以上、今後の動向には最大限に注視していかなければなりません。内需中心の日本の農業には良い事が無いのは依然と変わりが無いからです。影響は農業だけに留まらない事は、盟友

の皆さんにも理解が出来ていると思っております。ですからこれからの運動の有り方に深いご理解をお願い致します。

最近になり気になっている事があります。それは国が以前から掲げていた自給率の問題です。今後は自給率から自給力に変更するとの考え方です。単純に1%を上げるのに莫大な補助金の支出が変わると言いました。簡単に解釈をすると、自分の事は自分の責任で力を付けなさいとの事です。自給率には国内での食料を国産で安心安全を基礎に、安全保障の役割も担っていると思えますので単純に安価だけの国外の食料に頼るのは危険です。そして国を支える食料基地の担い手として、北海道からそして地方から声を強めなければいけないでしょう。

そのような中で我々としては、幾度となく国との話し合いを重ね、この地域に合った政策の実現に向け運動を進めて行きたいと思っております。そのためにも、盟友の皆さんの更なるご支援を期待致したく思います。

結びとして、本年も豊穡の出来秋に喜べる事を心より御祈念申し上げますと共に、農民活動に御理解と御協力をお願いいたしまして新年の挨拶と致します。

年頭のご挨拶

新年のご挨拶



ホクレン斜里原料所
所 長 泉

佳 史

新年明けましておめでとうございます。
平成27年の新春を迎え謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より、てん菜振興並びに原料所業務に対し、組合員をはじめ農協および関係機関の皆様には、特段のご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

平成26年度のてん菜作況を振り返ってみますと、春先の低温により4月中旬まで圃場に雪が残り作付けの遅れが心配されましたが、その後は気温が上昇し好天にも恵まれたため、移植の最盛期は平年並みとなりました。5月16日から18日の暴風雨により直播を中心に被害が発生しましたが、早期の対処により最低限の被害に抑える事ができました。6～7月はやや干

ばつ傾向であったものの、生育は順調に進み根部の肥大は平年を上回る状況でありました。

病害虫の発生については組合員皆様の徹底した早期防除により褐斑病を中心に非常に少なく推移しましたが、8月中旬頃からてん菜の葉が黄色に変色する西部萎黄病が発生し、9月以降は町内全域で散見されました。西部萎黄病については、次年度に向けた対策を関係機関と協議しているところであります。

生産実績については、収量が約63 t/ha、糖分が17.9%で平年を上回る結果であり、組合員皆様の平均手取り金額はおよそ128千円/10aとなります。その他に産地資金が追加されますので、近年にはない手取り金額にな

ると思われれます。これも一重に組合員や関係機関の皆様の日頃から努力と土づくりや肥培管理の成果であり、当地域の生産基盤の強さが再確認できた結果となりました。

輸送については、公共事業増加等によりトラック確保が困難な中、10月13日に早期輸送、17日に中間輸送を開始しました。本年は、総体的に好天に恵まれたことや早期収穫、ストックポイントの整備、大型車の導入等、皆様のご協力により、計画どおり11月18日に中間輸送を完了する事が出来ましたし、トラック運転手休日取得の関係で2日間の輸送休日を設定しましたがトラブルなく終える事が出来ました。また、後期・庭先輸送についても、計画通り完了させて頂い

た事に対し改めて感謝を申し上げます。

TPPについては、政府による交渉が本格的に開始され予断を許さない状況が続いています。関税や知的財産、ISD条項など難航分野で課題を詰め切れず、平成26年の年内妥結は見送られる事になりましたが、オーストラリアとの経済連携協定交渉では牛肉関税削減等、重要品目の市場開放を認める内容であった事から、政府には農産物重要5品目の完全維持を求める国会決議の原点上に立つて、より毅然とした態度で交渉に臨んで頂きたいと願うばかりでございます。

さて、次年度以降の清里町をはじめ区域内の基幹作物であるてん菜の生産基盤の維持および作付面積の確保に向けて、てん菜振興協議会を中心として、生産者・関係機関・工場が作付面積の確保、生産費の削減、効率的且つ合理的な砂糖生産に、より強力に取組んでいくことが重要と考えますので皆様のご協力・ご理解を頂きます様よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様方のますますのご健勝と本年の豊穰を心からご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

新年のご挨拶



網走農業改良普及センター清里支所

支所長 高松 聡

新年明けましておめでとうございます。希望に満ちた平成27年の新春をご家族とともに迎えられることを、心からお慶び申し上げます。また、日頃より普及センターの活動に対し、皆様には特段のご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年の作況を振り返ってみますと、春先の低温により融雪が大幅に遅れ、植え付け作業の開始が遅れました。特に春まき小麦の播種作業が遅れ、心配されましたが、その後の天候が順調に推移したことから、農作業は急ピッチに進み、近年にない順調なスタートを切ることができました。

6月より、これまでの低温から一転高温に経過したことから、作況は平年並みに回復していきまし

た。

7月は少雨に経過し、小麦の収穫が始まる下旬より降雨が多くなり、小麦の品質低下が懸念されましたが、皆様方の努力の結果、問題なく収穫が終了しました。品質は全量一等Aランク、収量は全道的にみても高水準となりました。

8月は多雨でしたが、9～10月は降水量が少なく経過したため、収穫作業も順調に進みました。馬齢しよ（でん粉原料用）は、でん粉価が高く、収量は70俵/10aを越え、近年にない豊作となりました。てん菜についても根重・根中糖分とも高く、3作そろつての豊作となり、皆様の日頃の土作りや肥培管理技術の高さを現す結果と敬意を表します。

農業を取り巻く情勢は、今また

大きく変化し、TPP交渉については予断を許さない状況が続いており、日豪EPA交渉では昨年4月に大筋合意に至り、本道の肉牛生産や酪農などに大きな影響が出ることが懸念されております。

国内においては、「農林水産業・地域の活力創造プラン」に沿って農地中間管理機構の創設、経営所得安定対策の見直し、水田フル活用と米政策の見直し、日本型直接支払制度の創設という4つの改革がスタートし、正に「農政改革元年」ともいべき一年となりました。

国内外の情勢がめまぐるしく変化し、先行きが不透明な状況であります。今一度足下を見つめ直し、「土づくり」「基本技術の励行」「人づくり」等、今できるこ

とを将来に向かって確実に実行していくことが重要と考えます。

普及センターとしても、小麦・てん菜・馬齢しよを始めとした作物の安定生産、乳牛・肉牛への支援、重点地区を中心とした地域づくりや担い手育成を引き続き支援して参ります。

また、普及センターでは将来を見据えて3つのプロジェクトを推進していきたいと考えています。

一つは、輪作作物として重要な品目であるでん粉原料用馬齢しよの「低収要因の解析と安定多収技術の確立」。期待の新品種「コナコタカ」（北育20号）の栽培法もこの中で検討して参ります。次に、明日の地域を考えると、女性の経営参画がより重要であり、女性の学習機会を創設していきたいと考えています。3つめは、飼料費等の生産コストが上昇している酪農家に対する支援と規模拡大が進む畑作経営を結びつける「耕畜連携」を推進して参りますので、皆様のご理解とご協力のほど宜しくお願いします。

結びに、本年が輝かしく豊かな年となると共に、皆様のご多幸と益々のご発展をご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

年頭のご挨拶

新年のご挨拶



清里町農協青年部
部長 大町敏隆

新年明けましておめでとうござ
います。輝かしい新春を迎え、謹
んで新年のご挨拶を申し上げます。
日頃より、農協青年部活動に対
しまして、農協・各関係機関の皆
様方には多大なるご支援、ご協力を
頂いておりますことに、深く感謝
申し上げます。

農業とは、毎年違う気象条件と
向き合う仕事ですが、昨年は春先
の融雪の遅れこそありましたが、
その後天候も回復し、やや干ばつ
傾向にありましたが、生育、秋の
収穫作業も順調に終えることがで
きました。小麦、馬鈴薯、甜菜共
に良い結果であり豊穰の年となり
ました。

昨年度の青年部活動を振り返り
ますと、ソフトボール大会、視察

研修、タオルの町内介護施設寄付、
産業まつり、オホーツク農業祭へ
の出席、国内研修、農民連盟や普
及センターを招いての学習会など、
様々な事業を行ってきました。

また、異業種交流会や農協収穫
祭への出席など、初の事業もあり
例年にも増して積極的な事業展開
となりました。産業まつり・オ
ホーツク農業祭や農協収穫祭では、
消費者の声を直接聞く機会があり、
価格・品質など、どの様な物が求
められているか、売るための工夫
など考えさせられる良い機会とな
りました。

タオルの介護施設への寄付は、
ボランティアとして、一昨年より
行っています。施設から大変感謝
され、嬉しく思うと共に、今後モ

地域に貢献できる活動を続けてい
きたいと思えます。

ホクレン中斜里区域甜菜振興協
議会のヨーロッパ視察研修に参加
させて頂き、ドイツ・オランダ・
ベルギーの三カ国を回りました。
経営安定のために、体験農場とし
て開放していたり、一次加工をす
ること付加価値をつけて販売す
る等、様々な工夫を行い営農して
いるのがとても参考になり充実し
た視察研修となりました。

農業情勢は、TPPを始め、農
協改革など、先行きが不安な状況
にあります。これらの先の見えな
い情勢の中、組織活動を通じて地
域農業・JA運動を継続発展させ
ていくための人材育成を図り、青
年部組織の役割と必要性を今一度

見直し、一丸となって立ち向かっ
ていきたいと思えます。

最後になりましたが、農協、各
関係機関の皆様の変わらぬご指導、
ご協力をお願い申し上げますと共に、
皆様方にとりまして明るい一
年でありますようご祈念申し上げ
まして新年のご挨拶と致します。

年頭のご挨拶

新年のご挨拶



JA清里町女性部
部長 成戸 貴子

新年明けましておめでとうございます。輝かしい新年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃よりJA女性部活動に対しまして、JAを始め、各関係機関の皆様方には、多大なるご支援・ご協力を頂きまして厚くお礼申し上げます。また、深いご理解の下、女性部活動にご協力頂いております女性部員のご家族の皆様にも重ねてお礼申し上げます。

昨年の春は、2月から3月にかけて吹雪になる日が多く、雪解けも場所によって遅れた所もありました。播き付けは順調に進みましたが、その後低温と長雨が続き6月に入ると一転して37度以上の記録的猛暑日が続き干ばつとなりました。全国各地では大きな台風や地震の災害がある中、管内では台

風などの被害もなく、一昨年を上回る実り多い年を迎えた事と思えます。

昨年の活動を振り返りますと、女性部の部員数も過去4年間で40人以上減り、スポーツレクリエーションでは人数減少の為、5チームから4チームでの開催となりました。今回から初めて競技に取り入れた「マフラーリレー」では来賓の方々にも参加して頂き交流を深めながら楽しく、いい汗を流しました。

視察研修では、5年ぶりの道外研修となり大阪方面へ出発、「あべのハルカス」では地上300mから見る大阪の夜景を観覧し、「大果大阪青果株式会社」では玉ねぎ、ごぼう、じゃがいもや清里産長芋のセリを見学させて頂きました。

た。「海遊館」では太平洋を表現した巨大水槽を中心として、14の水槽で環太平洋を再現しています。「ユニバーサルスタジオジャパン」ではランドオープン前のハリポッターに時間限定で入場する事が出来、ハリポッターの世界に引き込まれ、思う存分楽しんできました。帰りのバスの中は入りきらないぐらいのお土産がギョウギウ詰めになっていました。大阪の野菜を沢山見て、食べて、学び充実した研修でした。

研修大会では、講師に大塚製薬の方々を招き、最近よく耳にする「ロコモ」についてなど健康に関するお話を頂き、「健康寿命」を伸ばす事が出来る様、頑張りたいと思えました。また忙しい中、食品・手芸作品、アトラクションと、

部員の方々の協力に深く感謝しています。そして昨年はJA職員との交流も出来、これから益々交流の場が増えていく事を期待しています。

フレッシュユミズ部では部員同士の交流を深めながら共に学び活動しています。また、フレッシュユミズ部長をはじめ役員の方々の協力で、まだ女性部に入っていない若い方々にも女性部・フレッシュユミズ部を知ってもらい、参加して頂ける様、チラシづくりや、声掛けをしていますのでよろしくお願い致します。

アカシヤ部会では健康管理に努めながら親睦を深めボランティア活動に取り組んでいます。

関係諸団体への参加として清里女性会議、まちづくり推進協議会、ふるさと産業まつり、鶴ヶ島産業まつりなど、それぞれの事業や会議に役員共々出席させて頂き、大変勉強になりました。

最後になりましたが、JA、各関係機関の皆様には、今後とも変わらぬご指導、ご協力をお願い申し上げますとともに、ご家族の皆様が健康で明るい一年であります様に、ご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

第3回JA清里町大収穫感謝祭

町民の方々の目頃のご愛顧に感謝を込めて



餅まき大会



組合長挨拶

11月22日の午前10時より、第3回大収穫感謝祭が事務所駐車場にて開催されました。今年も長芋や玉葱などの各種野菜の詰め放題、かぼちゃの重量当てクイズ、餅まき、女性部によるでん粉団子、お楽しみ抽選会などの催しを行いました。地産地消コーナーでは、澤田農場の手作り豆腐やおからを使用したせんべい、TOKO-TOKOのたまちゃんまん、麦香房のピザとドーナツ、おくちゃん農園のプラムとブルーベリーのジャム、花いちもんめのドライフラワー、つゆ草の会の手作り石鹸などの販売も行われました。また新たに青年部の豚串焼き、清里産きたほなみ100%つどんの販売も加わり、盛り沢山の内容での開催となりました。

今年も女性部のでん粉団子は大好評で売れ行きも好調、青年部の豚串も炭火焼でとてもおいしく、12時30分頃には完売となりました。野菜の詰め放題コーナーには開始の30分ほど前から長蛇の列がでぎ、開始と同時に目当ての長芋や玉葱に殺到、皆さん袋一杯に詰め込んでいました。

餅まき大会ではご来場の皆さんが買物袋などを持って集まり、たくさんのお餅を拾い集めていました。

最後にお楽しみ抽選会が行われました。今年の景品は、農産物詰め合わせ、清里産長芋5kg、エコープ商品券、清里焼酎、給油券などで、居城組合長の抽選により番号を読み上げるたびに、会場内は一喜一憂し、大いに盛り上がりました。

第3回目となった収穫感謝祭は、関係各位のご協力と、11月下旬としてはかなり暖かい日和に恵まれ、多くのお客様にご来場いただき、盛会裏の内に無事終了することが出来ました。次年度以降も更なる趣向を凝らし、皆様に楽しんでいただける場にしていきたいと考えております。



澤田農場



TOKO-TOKO たまちゃんまん



清里産きたほなみ生うどん



麦工房のパン



おくちゃん農園 ジャム



重量あてクイズ



串焼き担当の青年部



農産物詰め放題



花いちもんめ



お楽しみ抽選会



清里町酪農組合設立50周年記念式典

去る11月21日、清里町酪農組合（富好信夫組合長）は緑清荘において、設立50周年記念式典を多くの来賓、組合員のご臨席のもと盛大に開催致しました。

式典では、富好組合長より「長引く配合飼料価格の高止まり、燃油等動力水熱費の上昇等、経営コストが上昇する中、後継者不足と



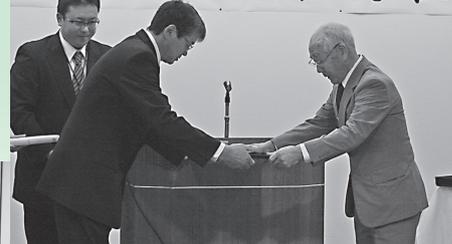
重なって搾乳を中止する酪農家が増加している。又、近年生産乳量の前年割れが続く、実態にそぐわない生産目標の設定に疑問視する声も聞かれている。酪農も大変厳しい状況にあるが、是非、清里町酪農組合協同組合、そして関係機関が一体となって、酪農への御支援と、地域循環型農業の推進に向け御協力をお願いしたい。清里町酪農組合50周年を機に、組合員全員が益々仲間と組織を大切に、そして更に一層の団結と組織力で明るい希望の持てる清里町酪農を築いていく一等と述べられました。続いて、来賓を代表して櫛引町長、居城組合長より祝辞を頂きました。その後、永年に亘り当組合に貢献された歴代組合長【2代目組合長（昭和60年度）平成10年度）

桑島圓美氏、3代目組合長（平成11年度）平成16年度）故長嶋英幸氏、4代目組合長（平成17年度）平成22年度）中村孝治氏、5代目組合長（平成23年度）現在）富好信夫氏へ感謝状と記念品が贈呈され、歴代組合長を代表して、中村孝治氏より謝辞を頂きました。引き続き祝宴が盛大に行われ、設立50周年を関係者一同で祝いました。

〔清里町酪農組合 沿革〕

- 昭和39年 設立総会
当時の酪農家戸数 131戸
乳牛頭数 1,277頭
- 昭和48年 斜里岳山麓の登山口地区の草地、及び昭和地区の草地造成。造成総面積112.6ヘクタール。
- 昭和52年 全戸バルククーラー導入
- 昭和59年 清里町乳牛検定組合設立
- 平成4年 清里町酪農ヘルパー利用組合設立
- 平成6年 乳牛1頭当たりの平均乳量が9,079kgで全道1位となる
- 平成9年 本年度、初めて生産乳量1万トンを突破（1万94t）
- 平成16年 乳質向上対策事業開始
- 平成26年 清里町酪農組合設立50周年
酪農家戸数 14戸
乳牛頭数 2,069頭

組合設立50周年記念式典



日本の森林・林業とTPP交渉の課題



東京農工大学生物産学部長
黒 瀧 秀 久

2013年3月に環太平洋戦略的経済連携協定（以下、TPP）への交渉参加を表明して以来、参加国間の交渉会合が進められ、各方面で活発な議論が繰り返されている。

我が国の農林水産業にとってTPPは、関税の撤廃による安価な生産物などの輸入増加が危惧される問題として大きく取り上げられ、とりわけ農業分野における貿易問題として捉えられる場合が多い。しかし、森林・林業分野においてもTPP参加による林産物（合板・集成材等）の関税撤廃は、木材産業ならびに国内林業の衰退とそれに伴う国土の荒廃にまで影響を及ぼしかねない重大な問題である。

は約70兆円の価値と評価されるほどである。

しかしながら、産業として捉えた林業は衰退の一途をたどっており、国産材価格の低迷により問伐を中心とした保育作業や伐採・搬出等に掛かる費用も回収が困難となり、例え主伐を行っても採算が取れない状況下で林業経営意欲が低下し、林業離れによる後継者不足や高齢化、施業放棄林分の拡大、伐採後放棄地の増加など深刻な問題を抱えている。

こうした林業の衰退の一因となったのが、1951年の丸太の関税撤廃や1964年の木材輸入の完全自由化である。その後もプラザ合意やMOSS協議などの輸入加速政策により関税率が段階的に引き下げられ、自由化完了時には10〜20%程度あった林産物の関税は今や半分以下にまで低下し、丸太や製材の一部に至っては関税ゼロの状況である。その結果、木材輸入が年々拡大して国内林業を圧迫し、自由化以前には70%以上

あった木材自給率は10年で半減し、1997年には初めて20%をも割り込んでいた。また、木材価格は1980年をピークに、現在は当時の約3分の1にまで下落している。

こうした状況下でのTPP交渉への参加は、主要国・地域との経済連携の重要性は十分に認識すべきであるものの、既に関税引き下げや貿易自由化などで大打撃を受け疲弊している日本林業を衰退させ、林業・木材産業全体の存続の危機となることが懸念される大問題である。仮にTPPにより合板や集成材等の関税がゼロになった場合、林産物の生産量減少率は5.7%、生産量減少額は全国で490億円（農林水産省試算）と推計されている。そのうち北海道の減少額は33億円（北海道推計）であり、これは木材製品出荷額の1割程度に相当する大きな金額である。

こうした事態となれば、価格の安い輸入材の増加によって、我が国の森林所有者や木材業界の経営意欲を減退させると同時に、さらなる経営環境の悪化が危惧される。また、それに伴う森林資源の循環利用（伐採↓利用↓植林↓保育）の形態が損なわれ、地球温暖化対策や多面的機能の発揮、木材自給

率向上のための森林整備や産業振興への影響が懸念される。とりわけ環境面での悪影響は、TPPによる経済的損失以上に危惧されなければならぬ問題であるといえる。

他方、近年の我が国における林業政策においては、2009年に「林業再生プラン」を制定して10年後の木材自給率50%を目指し、2010年の「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」や「地域材利用促進政策」等により国産材利用の拡大を図っており、2011年の木材自給率は26%まで回復し成果を上げている。TPPへの参加はこうした政策にも水を差す恐れも懸念されよう。

以上のように、多くの問題・課題を抱えながら進展しているTPP交渉であるが、「国益」の中身を見据えて、単純な自由貿易化の観点のみで議論するのではなく、誰のための「国益」なのかを原点に帰って点検し、我が国の森林・林業の安定と持続を前提とした「持続可能な森林経営」の推進に資する貿易のあり方についても議論されるべきである。そのためには、撤退を含む明確な方針の下で現行関税水準堅持（状況によってはそれ以前に戻すことも検討）を前提とした交渉に挑むことが重要であろう。

工夫を凝らした衣装や可愛い踊りで大盛り上がり

12月9日、JA清里町女性部(成戸貴子部長)は、清里町学習センターにて第29回女性部研修会を開催しました。

成戸部長より「今回は元気ハツラツ明日輝くためにと題し健康に関する話をしていただき。いつまでも自分の足で歩き健康でありますように。女性のパワーが輝くアトラクションでは、今回、初めて農協職員の皆さんにも参加してもらったことができた。今日は皆さん楽しんで下さい。」等述べられました。

講演では、大塚製薬株式会社の赤塚氏による『元気ハツラツ!!明日輝くために』を題目に、口コモや生活習慣病、インフルエンザ、体にとっても良いと注目されている大豆の栄養成分についての話をしていたいただきました。

講演終了後、食品部門の試食会が行われ、審査にJAこしのみず女性部、JA斜里町女性部、自女連商工会女性部、清里町役場、普及センター、農民連盟、農協職員等に投票をお願いし、アトラクションも楽しく観覧していただきました。

アトラクションの最初は、1集団で「アナと雪の女王」、肥料袋やフレコンを使用したの衣装に驚かされました。途中、「きよつぴー」

も登場し、盛り上がりました。

続いては2集団の「みんなの応援団!!」でAKB48の可愛い踊りと嵐のかっこいい踊りに魅了されました。

最後は、今年初めてとなる農協職員のアトラクションで「ようかい職員」と題し、妖怪ウオッチの踊りを披露しました。3年未満の職員6名が自己紹介を兼ねて参加しましたが、とても好評で、「とても身近に感じて良かった。意外な一面を見ました。」と嬉しい言葉を頂きました。

生活展出品作品は、各集団工夫を凝らした料理や手芸品が披露され、北見地区に出品される作品を

発表しました。

食品部門は出品数12点中3作品(4集団支部の「地場産で作るポテトフォカッチャ」、1集団高橋ゆきえさんの「小玉ねぎの甘酢和え」、8集団支部の「南瓜のみそマヨ和え」、手芸部門は出品数16点中3作品(8集団支部の「ステンドグラス風デコ」、5集団菅原裕美子さんの「千鳥格子模様のかごバック」、7集団支部の「苗箱背おい用ベルト」となりました。次回は30回目となる記念研修会で、どんなアトラクションを見せてくれるのか、今から楽しみです。



高等学校・大学・短大・専門学校生大歓迎 JAグループ職員養成学校

JAカレッジ

- 60名 ●1カ年、全寮制 ●24歳未満
- 大学、短大・専門学校卒(見込)、高校卒(見込)
- 試験日:2月14日・15日 ●願書受付:1月9日~2月2日 ●学校見学もできます

男女共学

JAへ就職

お問い合わせ
資料請求

一般財団法人
北海道農業協同組合学校

〒069-0834 江別市文京台東町43-1
(JAカレッジ) ☎ 0120-918-417

JAカレッジ

アトラクション



1 集団
「アナと雪の女王」

2 集団
「みんなの応援団!!!」



農協職員
「ようかい職員」

生活 展示品 作品



ステンドグラス風デコ



千鳥格子模様のかごバック



苗箱背負い用ベルト



小玉ねぎの甘酢和え



地場産で作るポテトフォカッチャ



南瓜のみそマヨ和え



★新規共済契約者様「温泉旅行親睦会」

のんびり過ごす一泊旅行



会場内は底抜けに明るいパフォーマンスに魅了された

去る11月28日～29日に共済課では新規共済契約者様約50名を対象に、「ウトク温泉「北こぶし」」において、温泉旅行親睦会を行いました。

ホテル到着前に知床エゾシカファームと知床世界遺産センターを見学した一同は、「ウトクには何度も訪れているのに両施設とも初めて来ました。知床の生態系には驚かされた。」等と皆さん興味深く見入っていて、懇親会までの時間を有意義に楽しみました。

懇親会では石井専務の挨拶乾杯を皮切りに、ビンゴゲームでは10人に1人に豪華景品のチャンスに当たった方も当たらなかった方も一喜一憂しつつ会場は大いに盛り上がりました。

料理長こだわりの会席料理を堪能しながら、宴会のメインであります「アップルシャベルズ（ス Copp 三味線）ショー」では底抜けに明るいパフォーマンスにすっかり魅了され、大きな拍手や笑いが起こりました。参加者もステージに上がり一緒にエア三味線を披露したり会場内を行進する等、会場はさらに盛り上がり、アンコールが鳴り止まず、歓声と笑い声、拍手が飛び交いあつという間に二時間の懇親会は終了致しました。大勢の方の尽きる事のない会話

は夜が更けてもいつまでも弾んでいました。

翌日は、知床道の駅に立ち寄り、日常の生活を離れ、ゆっくりとした時間を過ごし、思い出多き旅行となりました。「顔は知っていてもお話をしたことが無かった方と交流が出来て面白かった」「知り合いが居なくて不安だったが、楽しかった」など貴重な意見をたくさん頂きました。

今回ご参加頂きました皆様におかれましては、誠にありがとうございました。これからも皆様および地域との絆を大切にしながら農協共済事業の取組みを通じて、豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりに貢献して参ります。



うちの畑でみられる足跡は熊の後ろ足だったんだあ

清里特産品のタベ
清里産長芋な
どをふんだん
に使用!



恒例となりました清里町商工会主催による「清里特産品のタベ」が12月12日にコミットにて開催されました。今年で7回目となるイベントで、デザインが一新された清里焼酎の試飲会、やなぎやふあーむのじゃがいもや玉葱の料

理、澤田農場の「ゆきむすめ」を使用したザル豆腐などの試食会が行われました。また長芋生産組合女性部の皆さんからは、長芋のサラダ、長芋と小豆のどら焼き、長芋入りの伊達巻き、長芋の味噌マヨ和えなどが振る舞われ、試食会



が始まるとあっという間に無くなってしまつほどの盛況ぶりでした。この他、町内の各飲食店からも、きたほなみを使用した手打ちうどん・焼うどん、清里産野菜を使用したドリア・チャーハン・シウマイなども提供され、こちらの料理にも来場者が集まり、瞬く間

に無くなってしまつような状況でした。今回は会場に入りきれないほど来場者も多く、また町内の特産品が当たる抽選会では、当選番号が発表される都度皆さんが一喜一憂し、大いに盛り上がった一時となりました。



北あかりDEチーズスフレ



ゆきむすめのザル豆腐



長芋のサラダとどら焼き



長芋入りの伊達巻き



長芋の味噌マヨ和え



清里産野菜を使ったシウマイ

残った

餅

が

大変身!

お餅

ア

レ

ン

ジン

レ
ン
ジ
ン

お正月を過ぎて、残ってしまった餅。アレンジしたいでさまざま楽しめる方ができます。

餅を使った手軽なメニューをご紹介します！

レシピ提供：ベターホームのお料理教室

餅入り ミネストローネ

371
kcal

具たくさんのおスープに餅をプラス。材料をカップに入れて電子レンジで温めるだけです。忙しい朝にもぴったりです！市販のトマトジュースを使うため材料もシンプル。

撮影：松島均

■材料（1人分）

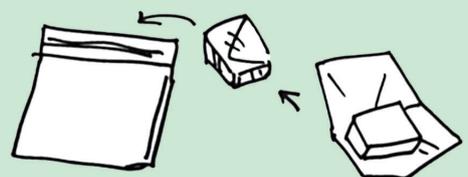
- 切り餅……………1個
- カップ……………小1個（50g）
- タマネギ……………30g
- ニンジン……………30g
- 厚切りベーコン……………1枚（50g）
- A 水……………50ml
- スープのもと……………小さじ1/2
- B トマトジュース（無塩）……………100ml
- 塩・こしょう……………各少々

■作り方

- (1) 切り餅は6等分にする
- (2) カップは蓋を1～2cm残して8等分に、タマネギは1cm角に、ニンジンは3mm厚さのいちょう切にする。ベーコンは1cm幅に切る。
- (3) 深めの器に(2)とAを入れ、ラップを掛けて電子レンジで約4分（500W）加熱する。
- (4) 全体を混ぜ、Bを加えて軽く混ぜる。餅を重ねないように入れ、再びラップを掛けて電子レンジで約3分（500W）加熱する。そのまま1分ほど蒸らす。

残った餅は？

真空パックの物は常温で商品の表示通りに保管しましょう。パックされていない切り餅は一切れずつラップに包んで保存袋に入れ、冷蔵庫で約1週間。それ以上保存する場合は冷凍しましょう。使うときは半解凍程度にして加熱調理します。



餅チーズグラタン

415 kcal

トマトソースのグラタン。マカロニの代わりに餅を使います。とろ〜り溶けた餅とチーズが、トマトソースと相性抜群。



撮影：大井一範

■材料（4人分）

- 切り餅 ……………4個
- 鶏もも肉 ……………200g
- ブロッコリー……………1/2 株(100g)
- タマネギ……………1/2 個
- ニンニク……………1片(10g)
- オリーブ油 ……………大さじ2
- トマト水煮缶詰……………1缶(400g)
- 固形スープのもと ……………1/2 個
- 白ワイン ……………大さじ2
- ローリエ ……………1枚
- 塩 ……………小さじ1/2
- こしょう……………少々
- ピザ用チーズ……………100g

■作り方

- (1) 切り餅は、半分に切る。
- (2) 鶏もも肉は、一口大に切る。
- (3) ブロッコリーは子房に分け、さっとゆでる。タマネギ、ニンニクはみじん切りにする。
- (4) 鍋にオリーブ油を熱し、(3) のタマネギ、ニンニクを弱火で4〜5分炒める。
- (5) (4) に(2) を入れる。肉の色が変わったらAを加え、トマトをつぶしながら約10分煮る。
- (6) グラタン皿に餅、ブロッコリーを入れ、(5) を掛け、チーズを載せる。
- (7) (6) をオーブントースターで10〜15分焼く。



撮影：松島均

餅の和風ピザ

355 kcal

餅生地のお餅の食感としょうゆの香ばしさが病みつきになります。おやつやおつまみにもお薦め。

■材料（1人分）

- 切り餅……………2個
- ちりめんじゃこ……………大さじ1
- 万能ネギ……………1〜2本
- ピザ用チーズ……………20g
- しょうゆ……………小さじ1
- サラダ油……………小さじ1/2

■作り方

- (1) 切り餅は半分の厚さに切る。万能ねぎは小口切りする。
- (2) フライパンにサラダ油を温め、(1) の餅を2個くっつけて並べる。弱火でふたをして約2分焼く。
- (3) (2) を裏返してしょうゆを塗り、ちりめんじゃ

ことチーズを載せる。水大さじ1〜2（材料外）を加え、ふたをして1〜2分、チーズが溶けるまで蒸し焼きにする。

- (4) (3) を食べやすい大きさに切り、器に盛る。万能ねぎを載せる。



理事会の経過をお知らせ致します

第11回
11月17日

付議事項

次の事項について審議されました。

議案第1号 平成26年産玉葱・長芋の融資単価の設定について
議案第2号 利用組合の貸付に係る理事の連帯債務の承認について

協議事項

次の事項が協議されました。
①第9期総合5ヶ年計画の素案に
ついで

報告事項

- 次の事項が報告されました。
- ① 澱粉工場操業の中間報告について
 - ② JAグループ北海道改革プランについて
 - ③ 道常例検査現地講評について
 - ④ JA清里町自動車・農業機械展示会について
 - ⑤ 第3回JA清里町大収穫感謝祭の開催について

第12回
12月15日

付議事項

次の事項について審議されました。

議案第1号 平成26年度期中値引き（奨励）の実施について
議案第2号 平成26年産でん粉加工料の決定について
議案第3号 平成26年度排液散布負担金の決定について
議案第4号 平成27年度営農計画樹立に係る作物別単価の設定について
議案第5号 平成26年度給与改定について

協議事項

議案第6号 従業員に対する12月期賞与の支給について
次の事項が協議されました。

- ①平成27年度事業運営方針案について
- 報告事項**
- 次の事項が報告されました。
- ① 澱粉工場操業の実績報告について
 - ② 平成25年産共計でん粉の本精算について
 - ③ 平成25年産大豆の本精算について
 - ④ 平成25年産長芋の本精算について
 - ⑤ 平成26年産てん菜の概算払いについて
 - ⑥ 後継者正組合員加入審査会の結果について
 - ⑦ オホーツクJA役員研修会の開催について
 - ⑧ 内部監査の実施結果について
 - ⑨ 組合員に対する清里焼酎、きたほなみ生うどん・小麦粉の配布について

組合員状況

〈平成27年1月1日現在〉

■組合員数		〈前回報告より〉	
正組合員 (個人)	223名	(1名減)	
〃 (法人)	11法人	(変動なし)	
准組合員 (個人)	1,310名	(7名減)	
〃 (法人)	0法人	(変動なし)	
〃 (団体)	23団体	(2団体減)	
(合計)		1,567	

新年明けまして
おめでとうございます

平成27年 元旦



JA清里町
役職員一同

- ① 集团安田貴史さんの長男
安田 晃浩さん
赤松小百合さん
(〇集团赤松武美さんの長女)
- ② 集团湯浅守男さんの長男
湯浅 隆司さん
菊池佳奈絵さん
(〇集团菊池庸夫さんの長女)
- ③ 南出 修さん (7集团)
笹森 美希さん (札幌市)



年末・年始の業務日程について

月 日	部門 事務工場	金融課	業務課 機械センター	給油所 (本・支所)
12/29(月)	午前中営業	営業	午前中営業	営業
12/30(火)	休み	営業	休み	営業
12/31(水)	休み	休み	休み	営業 (8:30～12:00) (札弦は9:00～12:00)

1月1日(木)～4日(日)までは全部門休業

1/5(月)	休み	営業	休み	営業
--------	----	----	----	----

1月6日(火)は全部門平常営業

エコープきよさと店は年内無休、また、初売りは1月5日(月)となっておりますので、ご利用宜しくお願い致します。

健康百科

肩凝りの対処法

佐久総合病院名誉院長 ● 松島松翠

「肩凝り」とは、首や肩に起こる「不快感」や「こわばり」などの総称をいいます。肩に痛みがあつて腕が上げられない場合は、「五十肩」である可能性があります。

首や肩は、約6～7kgある頭と、片方約3～4kgある腕2本を支えています。つまり、首や肩の筋肉には合計で約15kgもの負担が常にかかっており、そのために緊張してこわばりやすいのです。肩凝りを解消するには、首や肩の筋肉にかかる負担をできるだけ軽くすることが重要です。

首や肩に大きな負担がかかるのは、まずパソコン作業やテレビ鑑賞などに熱中しているときです。そのときは前のめりの姿勢になりやすく、その姿勢で長時間過ごす、首や肩に負担がかかりやすくなるのです。

日常生活で注意することは、キツチンの流し台の高さが重要です。高すぎると腰が反り、肩を持ち上げた姿勢になります。低すぎるとかがむ姿勢になります。いずれも腰や肩に負担がかかります。掃除機をかけるときは、かがんだ姿勢

になりやすく、腰に負担がかかり、肩も凝ります。

長時間同じ姿勢が続くときは、1時間に1回ぐらい作業を中断し、肩や首を動かして、筋肉の緊張を取り除きます。やり方としては、頭を横に傾けて、傾けた側の肩を、力を抜いて後ろから前に10回、回します。前から後ろにも同様に10回行います。頭を逆に傾けて同様に行います。手足がしびれていたり、痛みで首を動かせない場合は行いません。

私が推奨するのは、『みんなの体操』です。NHK教育テレビで朝6時25分より放送されています。首や肩の運動が多く組み込まれていますので、肩凝り解消に役立ちます。



各課紹介



管理部共済課



前号から始まりました。職員の名前を覚えてもらうための企画。
第2回目は管理部共済課を紹介いたします。



吉田逸人

佐々木 猛

林 眞弓

森 朗

共済全般に関するご相談

JA共済相談受付センター

JA共済に関する一般的なご相談・お問い合わせについて、JA共済連全国本部がお電話でお受けしています。

0120-536-093

受付時間 9時～17時(土日祝日・12/29～1/3を除く)

ご契約のお車の事故やトラブルにも万全サポート

フリーダイヤル安心サービス

自動車共済にご加入の方を対象に、自動車事故の受付やアドバイスを行うほか、故障時の応急対応やレッカー搬送などの手配を行います。

0120-258-931

受付時間 24時間365日年中無休

お体に関するご相談

健康・介護ほっとライン

医師(精神科・心療内科を除く)、看護師、介護支援専門員(ケアマネージャー)、栄養士など健康・介護の専門家に、匿名・無料でご相談いただけます。

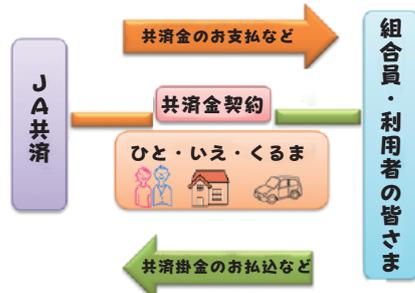
0120-481-536

受付時間 24時間365日年中無休

※ご相談の内容・性質などにより、回答できない場合があります。

共済課の仕事

JA共済は、組合員・利用者の皆さまに密着した「ひと・いえ・くるま」の生活総合保障事業を行っています。



た暮らしの保障のことなら何でも相談できる「ライフアドバイザー」や「自動車事故損害調査スタッフ」が誠意をもってお応えいたします！

職員紹介

- ①氏名
- ②共済課所属年数
- ③趣味・特技
- ④最近ハマっている事
- ⑤今後の抱負

① 森 朗

② 3年6カ月

③ パソコン関係でエクセルでアクセスのように外部データベース操作すること

④ 最近は生姜をたっぷり入れた食事と大根サラダや皮付きポテトを

食すること。

- ⑤ 2人に1人はがんになる時代。年間で亡くなる方のうち、実に約4人に1人が「がん」で亡くなられていますので、組合員さんの2人に1人が解約返戻金付きの「ガン共済」に契約して頂くこと。

- ① 佐々木 猛
- ② 8年
- ③ キャンプ・スマホゲーム
- ④ 息子と一緒に妖怪メダルを集める事
- ⑤ 体重が年々増加中なので、少しでも減量したいと思います。

① 吉田 逸人

② 1年目

- ③ 映画・演劇鑑賞 柔道
- ④ プラモデル製作
- ⑤ 1日も早く仕事を覚え、一人前の職員を目指したいと思います。

① 林 眞弓

- ② かなり長い…でもJA新人です。
- ③ 洋裁・・・(夢中になると具合が悪くなる)ところが困る)
- ④ 吉田君への教育 エヘ(笑)
- ⑤ とにかく病気をせずに残りの仕事を頑張りたいかなあ！

今回は共済課4名を紹介いたしました。第3回目は金融課を予定しています。お楽しみに。